

KCC Construction Consultant 会報

itakyusyu

発行人

北九州市小倉北区
豎町1丁目6番8-101KCC事務局
石松 毅彦

TEL 093-561-8283

FAX 093-561-7373

E-mail info@kcc-group.net

令和7年度 定時総会

令和7年度 事業計画

■定時総会報告

令和7年5月30日(金)リーガロイヤルホテル小倉で正会員24社が出席し定時総会を開催しました。議案は2件、それぞれ慎重な審議の上、原案どおり承認可決されました。

(一) 令和6年度 事業報告及び収支決算

一般会計決算額 1,652万円
特別会計決算額 553万円

(二) 令和7年度 事業計画及び収支予算

一般会計予算額 1,663万円
特別会計予算額 31万円

※特別会計について、令和6年度は受託事業がありましたが、令和7年度はその予定がないことから、必要経費のみの予算計上です。

■令和7年度事業計画 事業方針

KCCは、建設コンサルタント業務の研鑽に励み、北九州市をはじめ行政・関係機関と連携をとりつつ、社会資本整備の一端を担うべく活動を継続してきました。令和7年度は、KCC創立39周年に当たり、節目となる40周年に向け、協会活動のさらなる向上を目指す年度と位置づけられます。将来に亘ってKCCの活動を継続するために、先ずは、正会員の事業継承が最も重要な課題と考えます。

このためには、安全安心なまち

づくりに関するニーズや動向を的確に把握し、これらに対応できる技術力の研鑽が求められます。同時に、協会が一丸となって様々な課題に取り組み土台は、正会員・賛助会員の交流・連携です。このような視点を踏まえ、令和7年度事業の方向性を次のとおり設定しました。

① 自治体との関係強化

北九州市をはじめ行政機関との良好な関係づくりは、平時のまちづくり事業への参加、災害時の緊急対応などKCC活動の基盤となっています。

今、自治体・事業者ともに人手不足・技術継承といった共通の課題に直面していると言えます。

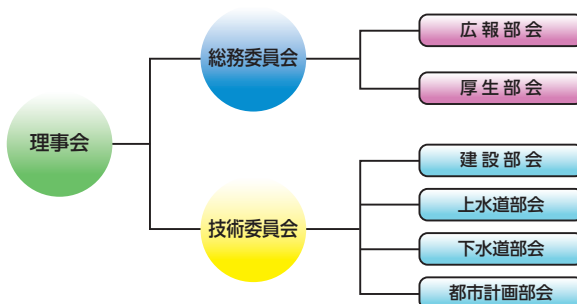
この対応への一助として、土木設計・調査業務、積算、書類や報告書提出など様々な場面で、コンプライアンスを踏まえ、業務の簡素・効率化を図ることができるよう、疑問点や課題を抽出し、解決策等を提案します。

② 会員相互の交流促進

正会員の連携・相互理解を促進する視点から、6つの部会で部員の交流を高める事業や、厚生事業の充実に努めます。

③ 事務事業の継続的な見直し

令和6年度の事務事業の執行状況を踏まえ、費用対効果による事務事業の見直しと同時に、北九州市との連携、周辺市町との関係づ



くり、会員の交流促進につながる事業に注力します。

(二) 令和7年度事業の概要

① 交流活動・情報発信

●意見交換会
年に一度、正会員・賛助会員が一堂に会する「場」です。会員の皆さまの意見や要望を頂き、この意見交換会がより一層、有意義な交流の場となるよう、工夫します。

●厚生事業

これまで、「バスツアー」「ボウリング大会」を交互に実施してきました。令和6年度は「食事会」(後掲)を行うなど、新しい企画にもチャレンジしています。

令和7年度事業についても、厚生部会で議論・検討し、会員の皆さまが楽しく交流できるイベントを実施します。

●部会運営

技術委員会の四つの部会では、建設コンサルタント業務に係る課

題解決、技術力向上に役立つ研修の企画などに取組みます。
総務委員会の二つの部会では、前述の厚生部会の活動、広報部会では、広報誌の編集などに取組みます。

また、活発な議論や意見交換がなされるよう、各部会と相談し、交流の場づくりに取組みます。

●「会報誌」・「事務局だより」

会報誌はKCC活動を会員の皆様にお知らせする大事なツールです。これまで、年4回の発行をしてまいりました。

この度、事務事業を見直す中で、活動の途中経過や身近な話題を適時、提供するためには、発行の頻度を高める、または、代替えのツールが必要となりました。

会報誌の発行には相応の時間や費用が必要となることから、新たな仕組みとして「事務局だより」を発行することとしました。

正会員へメールにより情報を発信するもので、基本的に2ヶ月に一回、また、臨時発行もあります。既に、令和7年3月号、4月号、6月号を配信しています。

●周辺市町へのPR活動

KCCは、建設コンサルタント業務を通じ、社会基盤整備の一翼を担い、安全・安心で住みよいまちづくりに貢献してまいりました。

この活動は、荏田町・行橋市など国道10号方面、遠賀四町・福津市など国道3号方面に連担する市町、更に直方市・飯塚市などの筑豊地域で建設コンサルタント業務を通じて取り組んできました。

今後、これら市町に、KCC活動状況や正会員情報などPR活動を継続し、地域貢献の継続・拡大に努めたいと考えています。

●ゆめみらいワーク2025

ゆめみらいワークは、高校生や

中学生に、早い段階から仕事や進学について考え、職業体験や社会人との交流を通じて、若者の職業観の醸成、地元企業・大学・専門学校等への理解促進、将来の地元就職に繋げることを目指すイベントです。

KCCは、北九州市技術監理局が取りまとめる『明日の北九州市を創る建設業』の構成員として出展してきました。

令和7年度においても、正会員並びに賛助会員の協力を得て、充実した内容となるよう努めます。

・開催 令和7年12月11日(木) 13日(土) 3日間
・会場 西日本総合展示場新館

② 研修・人材育成

●技術研修会
技術研修会は、KCC発足時から綿々と続く重要な事業です。昭和62年7月に第1回以降、これまで、技術委員会・専門部会による研修企画立案、賛助会員からの情報提供などを踏まえ、設計技術、並びに、建設工法や材料知識の習得などを目的に開催しています。令和7年度も継続し、年間4回開催する予定です。

●合同研修会

「合同研修会」は、建設コンサルタント業務に必要な技術指針・基準の研修や、契約事務などでの提出書類に係る知識の修得・周知を図る研修会などを、北九州市の関係部局と連携し、合同で開催するものです。このため、研修対象者は、市職員とKCC会員となり、両者が同時に参加する研修となります。

③ 災害時支援・協力活動

KCCは、平成30年10月に北九州市と『災害時における災害応急

対策業務の支援に関する協定書』、令和4年3月に北九州市上下水道局と『災害時における上下水道施設の技術支援協力に関する協定』を、それぞれ締結しています。

これら『支援・協力協定』に基づき、これまで災害応急対策業務の支援に取り組んできました。

令和7年度も、災害時には、迅速な対応を図ることができるよう、休日も含めて連絡体制を整え、災害復旧・地域貢献に努めます。

④ 北九州市への要望・提案活動

建設コンサルタント業務を将来に亘って継続し、北九州地域の社会資本整備の推進に寄与したいと考えています。このためには、技術の研鑽・新技術の活用、人材確保・働き方改革など様々な課題解決への取り組みが必要とされます。

課題解決の一助として、先ずは、日常の業務における疑問・問題などを、KCC内部において共有し、具体的な「課題」として取りまとめ、要望・提案したいと考えています。

この過程では、KCC正会員実情を北九州市に理解して頂くと同時に、KCCは北九州市の実情(財政状況と予算、事務執行等の手続きなど)を知る・理解するといった、相互理解が重要と考えます。



令和7年度

意見交換会

定時総会に引き続き、同ホテルにて令和7年度意見交換会を開催しました。来賓の皆様、正会員、賛助会員合わせて100名の方にご出席をいただき、盛会となりました。

【来賓の皆様】

武内 和久	北九州市長
尊田 利文	技術監理局長
小野 勝也	都市戦略局長
佐溝 圭太郎	港湾空港局長
一田 大作	上下水道局長
神野 右文	水道部長
	下水道部長

意見交換会の開催にあたり松尾会長より「KCC会員は、建設コンサルタント業務を通じて、北九州市の安全・安心なまちづくりに貢献できるよう努めています。他都市に比べ自然災害が少ないと言われる北九州市とは言え、ひとたび、災害が発生した時には、率先して復旧に取り組む心構えはできません。『北九州市では、新たな試みが着々と進展しています。Z世代課、すしの都課、楽しみな



取組に多くの方が期待されていると思います。このような楽しい心を持って若い世代の働き場所が創られることを願っています。」とあいさつされました。

続いて、来賓を代表して市内市長より「公共インフラは経済・社会の大きな土台であり、建設コンサルタントに携わる技術者の知恵とプロフェッショナルな知見で支えられています。

KCCの皆様には災害時における支援協定の締結や、北九州ゆめみらいワークへの出展にご協力をいただいております。北九州市の羅針盤として、まちを支え、牽引していただいていることに御礼を申し上げます。

北九州市は、昨年、60年ぶりに人口の転入超過(492人)を達成しました。まだまだ小さな数字ではありますが、この流れを少しずつ大きくしたいと、様々なチャレンジをしています。

一方、取り巻く環境は、人件費や資材の高騰など厳しい中、財源の確保もまた、非常に悩ましいところですが、工夫に工夫を重ねて、投資経費を上積みしました。

まちの土台である公共インフラを支えていくためにも、皆さまと一緒に心を合わせて、乗り越えたいと考えています。

北九州市の暮らし、経済、そして未来を、チーム北九州として一緒に創って参りましょう。」と力強いお言葉をいただきました。市長をはじめ来賓の皆様には、多くの出席者と歓談いただき、そ



の列が途切れることはありませんでした。

会場の各テーブルでは会話の輪が広がり、大変和やかな懇親会となりました。

今回、出席者(正会員と賛助会員)の交流を促進するための試みとして、賛助会員の皆様、リーフレットやパンフレットの展示、さらに、ステージでの「1分間メッセージ」をお願いしました。まだまだ、工夫が必要とは思いますが、今後とも皆様のご意見をいただき、「意見交換会」の充実に努めたいと考えています。



令和6年度
事業報告

(一) 災害時支援

令和6年度は、7月豪雨で発生した公園内遊歩道の沈下に係る補修工法の検討要請を受けました。対応可能な正会員5社(㈱アルファ、九州コクド、㈱北九州事務所、㈱東亜コンサルタント北九州営業所、㈱福山コンサルタント北九州本社、㈱松尾設計)の中から、(㈱東亜コンサルタント北九州営業所)に支援要請がなされました。

(二) 下水道BCP訓練

北九州市上下水道局は、災害発生時の支援・受援体制の強化及び組織、職員の対応力向上を目的に、毎年実施しています。令和6年度は、広島市下水道局への支援を想定した実地訓練・図上訓練が行われました。図上訓練は下水道部会から(㈱太平洋設計)が参加しました。

(三) 厚生事業

令和6年度は、新たな取り組みとして「食事会」令和6年度KCC厚生事業「イタリアンの夕べ」を、令和6年10月25日(金)に、13社36名の参加をいただき開催しました。参加者から、社外の方と交流を深める良い機会となった、事務職員同士のつながりを求める等々の意見が寄せられました。

(四) ゆめみらいワーク2024

令和6年度(2024年度)は、113企業・団体が出展し2日間の開催期間中に10,178名が来場。KCCは、正会員並びに賛助会員の方々の協力を得て、『明日の北九州市を創る建設業』の構成員として参加しました。出展内容等

(五) 技術研修会

令和6年度は、賛助会員の協力を得て4回開催しました。この内、第2回及び第3回は下水道部会によって、下水道設計の基礎知識から学べる研修として企画されました。

(六) 受託事業

令和6年度は、北九州市上下水道局から「下水道施設コンクリート防食技術指針(案)改訂業務」を受託しました。

● 下水道BCP訓練の概要

開催日	令和6年11月14日(木)～15日(金)
開催場所	広島市千田庁舎
内 容	1日目 移動(訓練の一環)、図上訓練・実地訓練 2日目 1日目訓練を踏まえた意見交換、移動(訓練の一環)
参加者	北九州市上下水道局、広島市下水道局、KCC

● ゆめみらいワーク2024 出展概要

開催日	令和6年12月11日(水)～12日(木)2日間
開催会場	西日本総合展示場・新館
出 展	3DCADで作成した3D道路を使ったドライブシミュレーター(㈱福山コンサルタント) ドローンの展示と飛行シミュレーター体験等(㈱計測検査) SRP工法とオメガライナー工法用の材料の展示、施工動画(積水化学工業㈱) 建設コンサルタント業務の紹介動画 下水道管渠探索ロボット(もぐりんこ)の操作体験 北九州市内の土木設計の紹介パネル展示

業務内容は、最後の改定が平成22年度となっている『下水道施設コンクリート防食技術指針(案)』について、準拠している基準の改訂に合わせてその内容を調整・見直すものです。合わせて、「管更生工事設計積算基準」において防食工法に関わる項目を修正するものです。業務は、下水道部会所属の正会員5社(㈱旭所設計、㈱サルタン技研設計、㈱サルタン技研設計)

● 令和6年度技術研修会・合同研修会

開催日	内 容	講 師	受講者数
第1回	第1部 プレキャストコンクリートにおける低酸素化の取り組みについて	小倉セメント製品工業(㈱)営業部 (㈱ヤマウ福岡営業部)	33
	第2部 国産れんが 発祥から現代まで	黒崎播磨(㈱)セラミックス事業部	
	第3部 コンクリート構造物の健康寿命を延ばすJ-ティフコムについて	(㈱)サンブリッジ	
第2回	第1部 水道管路における水理設計について	日本ダクティル鉄管協会	42
	第2部 ダクティル鉄管の管路設計について		
第3回	第1部 ダクティル鉄管管路の設計演習(座学)	日本ダクティル鉄管協会	39
	第2部 ダクティル鉄管管路の設計演習(演習問題と解説)		
第4回	第1部 橋台背面FCB工法盛土のFEM解析による耐震性能検証	FCB研究会事務局	16
	第2部 乾式吹付工法(リフレドライショット工法)について劣化した橋梁床版上面補修材(リフレモルセットSF)について	住友大阪セメント(㈱)福岡支店	
	第3部 SPR-SE工法エキスパンドタイプによる下水道管における自立管構築について	積水化学工業(㈱)	

ト、九和設計(㈱)、(㈱)吾水総合コンサルタント、(㈱)太平洋設計、(㈱)松尾設計が連携して取り組みました。

編集後記

この度、広報部会を離れることになりました。業界未経験の私を温かく迎えてくださった皆様には、心より感謝しております。広報誌作りの経験は、私の中でしっかりと残った基礎となりました。職場は変わりますが、まだどこかでご縁の架け橋が繋がれることを願っています。

九州コクド(㈱)
猪山 万里枝

この度、猪山の後任としてお世話になります。平方純平(ひらかたじゅんぺい)と申します。業界経験は浅いですが、皆様のお役に立てるよう精進してまいりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

九州コクド(㈱)
平方 純平

会員の異動

(令和7年1月以降)

(一) 賛助会員の退会

日本スナップロック協会
(令和7年3月31日付)

(二) 名称変更

株式会社押川測量設計
は、社名を「株式会社押川測研」に変更しました。

北九州市建設コンサルタント協会（KCC）は、
北九州地域を中心とする社会資本の整備、維持保全の
推進に貢献し、市民生活の向上を図り、広く社会公共の
福祉の増進に寄与します。

1. 正会員一覧

1	(株)旭技研設計コンサルタント	2	(株)アルファ
3	(株)ウエダ	4	(株)押川測研
5	(株)尾上設計コンサルタント	6	(株)おのみち設計技術
7	九和設計(株)	8	九州コクド(株)北九州事務所
9	計測検査(株)	10	(株)吾水総合コンサルタント
11	(株)サンプランアイ	12	(株)三洋コンサルタント
13	(株)シビルコンサルタント	14	ジーアンドエスエンジニアリング(株) 北九州営業所
15	(株)祥栄設計	16	(株)スペースシビル設計事務所
17	(株)太平設計	18	(株)東亜コンサルタント北九州営業所
19	(株)西日本測研社	20	日興コンサルタント(株)
21	日鉄鉱コンサルタント(株)北九州営業所	22	(株)福山コンサルタント北九州本社
23	北九設計(株)	24	(株)松尾設計

2. 賛助会員一覧

1	アーミングス(株)	2	(株)柏木興産
3	(株)九コン 北九州営業所	4	九州ベルテクス(株)
5	黒崎播磨(株)セラミックス事業部	6	(株)ケイ・イー・エス
7	小倉セメント製品工業(株)	8	下村コンクリート工業(株)
9	ジオスター(株)九州支店	10	西武ポリマ化成(株)九州営業所
11	積水化学工業(株) 環境・ライフカンパニー九州営業部	12	東亜グラウト工業(株)九州支店
13	東洋産業(株)	14	日本乾溜工業(株)北九州支店
15	日本ジッコウ(株)九州営業所	16	日本ステップ工業(株)九州営業所
17	日本ヒューム(株)北九州営業所	18	日之出水道機器(株)九州営業所
19	ヒロセ補強土(株)	20	水谷建設工業(株)北九州営業所
21	メタウォーター(株)北九州営業所	22	安川オートメーション・ドライブ(株)
23	矢作建設工業(株)九州支店	24	(株)ヤマウ北九州営業所
25	(株)ヤマウチ		